

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	訪問看護ステーション運営事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	菊池 義博			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	在宅で療養中の訪問看護を必要とする市民	意図	病状の悪化を防ぎ在宅療養が継続できる。
事業内容	市直営の訪問看護サービス事業所として設置。主治医の指示のもと看護師が訪問し、病状の観察、服薬管理、床ずれの手当等、個々の病状に応じた看護サービスを提供している。訪問看護の対価として診療報酬や利用料の支払いを受けている。			
事業開始から現在までの状況変化	当初は、寝たきり高齢者に対する訪問看護が主であったが、精神疾患や認知症の利用者の訪問看護が増加している。療養病床の削減や入院日数の削減等により、難病等で人工呼吸器装着等医療依存度の高い利用者や入院を繰り返している病状の不安定な精神疾患への訪問看護も実施している。24時間365日対応の民間訪問看護ステーションが充実してきたことから平成30年3月31日をもって事業を廃止した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	訪問日数	246	245	180	日	→→	
②	年間利用者実人数	57	55	41	人	→→		
③	年間利用者延人数	2255	2439	1275	件	→→		
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度は、事業の廃止に向け利用者が安心して移行できるよう民間の訪問看護ステーションと連絡調整を密に行い、順次新たな事業所に移行、フォローすることができた。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		44,807,910	42,377,884	36,085,487				
事業費(b)(円)		10,227,910	10,360,884	9,177,527				
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		34,580,000	32,017,000	26,907,960				
人役・職員(人)		4.00	4.00	3.33				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		3.00	3.00	3.00				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	D 大幅に削減すべきである
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市が直営の訪問看護ステーションの必要性について検討し事業廃止に向けた業務改善を図る。	③取組の課題	廃止事業につき記載なし
②今年度(H29)に実施した取組	市の訪問看護ステーションを利用して、市の方全員を民間訪問看護ステーションと連携し円滑な移行を図った。	④今後(H30以降)の改善計画	廃止事業につき記載なし